## R6年2月 ばら組ドキュメンテーション「友達と関わりながら遊ぶ」

A ちゃんと保育士が、玩具を使ってお医者さんごっこをしていた。 それを見た B ちゃんが、興味を持って近づいてきた。





保育士が「B ちゃんもお医者さんごっこしたいんだね、一緒に遊ぼうか」 と A ちゃんに話した。

すると、A ちゃんが B ちゃんの腕に注射器をあてたり、 「お口をあーんして見せてください」と言って歯科検診の真似をしたり、 2 人でお医者さんごっこを楽しむ姿が見られた。

## ☆考察☆

友達の遊び方への関心が高まっているばら組の子どもたち。しかし、まだ「一緒に遊びたい」という気持ちを言葉で表現することができなかったり、関わり方がわからずトラブルに繋がったりすることもあるため、常に大人が子どもの気持ちを代弁しながら仲立ちすることを心掛けている。

今回も、保育士がAちゃんに対してBちゃんの気持ちを代弁したことで、子ども同士の関係性がまたひとつ育まれていったように思う。